

『時が経って』寸評

- ・ わかれとたびだちの季節に贈るせつなソング
- ・ とぎれがちなメロディがただよわせる余情にキュンとくる 沈黙はときに雄弁
- ・ m.5-6 簡素な伴奏がかえって多くを語る好例
- ・ m.6,8 b.3 左手がどちらもレが鳴って気になる
- ・ ややそっけないタイトルだが代わりがみつからぬ 特異性がある


完成度をさらに上げるために

- ・ m.13 *meno mosso* (=前よりおそく) のち *poco rit.* と付してもよさそう
- ・ m.14 左手 全音符でいいとおもう
- ・ m.9-10 b.1-2 右手 和音のどちらもタイでよい



- ・ m.1-2 左手をひたすら下行で歩かせてみる



- ・ m.12 b.1 右手の和音 アクセントとして  アルペジオにしてもいいかも
- ・ m.14 b.1-2 右手 m.13と同様にスラーがあってもいいかも
- ・ m.1-12 フレーズを示すスラーを大まかに4小節ずつかけてしまっても
- ・ m.15 b.4 おもわせぶりにスタッカートにしてもオヤっとなる



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

心にシビれます。

持麿 勉